

令和 4 年度

定 時 総 会

事業報告

想いをつなげる。カタチにする。

N P O 法 人

湘 南 ス タ イ ル

令和 4 年 6 月 28 日(火) 18 : 30 ~

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 時 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 令和 3 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和 4 年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和 4 年度 収支予算（案）

1. 第 5 号議案 監事の選任

理事・正会員の活動報告

1. 閉会の辞

＜総括報告＞

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。

市川前理事長から団体の代表を引き継ぎ、事務局を兼務しながら 1 年間活動をしました。昨年度は新たな湘南スタイルを模索する 1 年となりましたが、活動報告等が疎かになってしまい、メンバーの皆さまにご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今年度からは新たなメンバーと一緒に「想いをつなげる カタチにする」をスローガンに精力的に活動をしてまいります。

＜設立から現在＞

2005 年、自主事業で成り立たせる NPO 運営を目指し、

- 湘南地域の情報発信ポータルサイト「湘南スタイル」の運営・広告募集事業
- 湘南地域の産業発展を目指した「湘南ブランド」の創出
- 湘南「海の駅・山の駅」建設提案

の事業を掲げ、産業・市民・公共機関の 3 分野をつなぎ、地域の活性化を目指してスタートし現在に至っています。

設立からの 3 年間は、志はあれど活動資金は乏しく、組織運営上大変厳しい時代でした。NPO を自主事業で成り立たせることは難しく、岐路に立っていた 2009 年、組織運営と地域課題解決の糸口と出会ったのは、神奈川県のパランタリー活動基金 21 に「湘南みかんの木パートナーシップ」プログラムでエントリーし、4 年間の協働事業を受託したことに同時に、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業「食と農のポータルサイト・おいしい茅ヶ崎」の事業受託でした。

2 つの行政との事業受託したことで、事務局職員の人件費を計上することができ、NPO として組織運営上、自立の目途が立ったことが大きなきっかけとなりました。

2 つの協働事業をきっかけに「食と農」をテーマに社会課題解決のための視点でメンバーが知恵を出し合った結果

1. 茅ヶ崎市産米使用災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発
2. 農水省 6 次産業化支援事業の神奈川県内の農水産業者 42 社に対し、4 名のプランナーを派遣し、6 次産業化の礎を築く事業の実施。

引きつづき、農水省「農ある暮らしづくり交付金」の受託により「ふれあい田んぼ塾」「ふれあい畑塾」の事業を実施、持続可能な仕組みを築いてきました。

3. 続いて、茅ヶ崎市との 6 課連携による「茅ヶ崎 100 年 P J」として、現「道の駅」予定地一帯の柳島向河原地区アクションプランとしての土地利用基本計画を茅ヶ崎市より業務委託を受け冊子を制作し、茅ヶ崎市へ提示しました。
4. その後、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業を通じ、「FuboLabo」「文化生涯ポータルサイト」「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」など、茅ヶ崎の情報発信に協力し、団体としての Web 発信力を築くことができました。

湘南地域の情報ポータルサイトを築くため、設立当初湘南地域の有力企業に2年間かけて80社ほど営業活動に回った苦労を思い出します。そのような中で慶応大学SFCとの産学連携で「人参焼酎さん」の開発・「浜降祭ライブ中継」や環境保全の視点から「ベロタクシー」の運行など厳しい経営環境の中で、NPOとして、どのような運営・資金計画をしていくべきかを学習した時期でした。

以降、コミュニティビジネスを通じての事業は、どの事業も在庫リスク「0」の仕組み形成で、受注や参加を確定してから運営を開始することを基盤に進め危険リスクを回避しています。是非事業者の方は、参考にして下さい。

2009年、神奈川ビジネスオーディションにエントリーし、県知事奨励賞・経営士会賞・コミュニティビジネス賞の3賞を受賞し注目を浴びるNPOとなりました。神奈川県中小企業センターより、経済産業省が新規開設するNPO出資事業の強い勧めがあり、10年間の出資助成（劣後ローン）を受けることとなりました。

平成30年度には実施事業の他、アグリビジネスコンサル事業などで予算を上回る収益を上げることができ、出資助成以外の借入金を返済することができました。

また、令和1年度は前々理事長の藁品様より500万の寄付金を頂き、借入金を全額返済する事ができました。

令和2年度は、身軽になった団体でコロナ関連の補助金を除いても、次年度の活動費を残せる体制になっております。

2018年から3年間行った「かながわボランティア活動推進基金21」との協働事業「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」では、大変多くの方に関わっていただき、団体としての活動の幅が大きく広がるきっかけとなりました。

2022年度からは補助金に頼るのではなく、稼げるNPOを目指して活動しています。

<第1号議案>

NPO 法人湘南スタイル 令和3年度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 日程 開催会議

理事会

第1回	4月20日
第2回	6月22日
第3回	8月24日
第4回	10月19日
第5回	12月21日
第6回	2月15日
第7回	3月5日

※令和3年度、理事会は隔月開催。

理事会の使命として、財務内容の健全化を目指し会議を行った。

定時総会 6月28日

みかんの木パートナーシップ

8月10日 みかん狩りイベントについて(二挺木さん・井上さん・北原さん)

ふれあい畑塾 毎月第2・第4土曜日、日曜日

湘南100PJ 7月19日 清水さん・中村さん・山口順平さん

その他 適宜実施

会計 毎月第4火曜日

2. 実施事業報告

① 湘南みかんの木パートナーシッププログラム	13 年目
② ふれあい畑塾	9 年目
③ 農産加工品販売「湘南工房」	9 年目
④ 湘南 100 プロジェクト	4 年目
⑤ キッチンカー・フードトラック事業	2 年目
⑥ 湘南スタイル HP の運営	17 年目

以上 7 の PJ も無事終了することができました。

既存のプロジェクトは継続しつつ、新たなプロジェクトも始まり収益化を模索する 1 年となった。

3. 財務状況

新たな補助金にはエントリーしておらず、小さな組織で経費を抑えつつプロジェクトの収益化を模索する 1 年となったが大きな収益を生むプロジェクトがなく、赤字での決算となった。資金繰りはわずかな内部留保を取り崩しながら運営した 1 年となった。

4. 会議体

各会議は前述の通り開催した。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1. 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業 13年目

<内容>大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受けサポートを行った。

参加農家数は3軒（二挺木・井上・北原）

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、みかん狩りイベントは中止としてみかんの予約販売を行った。既存の販売方法に加え通販サイトのBASEも使い2.8tを出荷することができた。

【寄付】

三菱UFJ銀行茅ヶ崎支店より、地域貢献活動の一環として15万の寄付を受ける。11月24日に支店長をはじめ3名の方に二挺木農園に来ていただき、湘南みかんの課題を説明。寄付金はボランティアの方や学生の交通費や昼食代に活用。

【大学との連携】

大学との連携強化も進め、東海大学では井上さんに協力のもと、湘南ミカンの現状を万城目ゼミの学生に伝え、圃場見学後に万城目ゼミで湘南みかんを活用した、地域振興について学生とブレストを行い、後日学生からアイデアのプレゼンを受けた。東大みかん愛好会とはコロナ禍で活動に制限がかかる中、5名の愛好会メンバーが収穫と出荷の手伝いに参加。

【地域連携】

チガラボスタッフの斉藤さんが主催するサス研から10名の方が収穫と出荷の手伝いに参加。また新規就農者(予定者)の方、6名に井上さんを紹介。新規就農者は路地野菜だけでなく、農業経営の安定化のために果樹も生産したいとのことで、果樹栽培の課題等をヒアリングや意見交換を行った。

【販売会】

湘南みかんの魅力を広めるため、メンバーの菊池奈々さんと郡恵美さんの協力を得て、湘南みかんの販売会を2回行った。その後、北原さん・井上さんの湘南ゴールドの販売会も行った。湘南ゴールドについては、フルーツパーラーフジサワやカフェパンセ、ゴールデンバブに卸売を行いJA出荷だけではなく、販路拡大のサポートも行った。市場では湘南ゴールドの取り扱い希望は多数あり。

【活動報告】

- 7月7日(水) 東海大学池村教授と今年度の連携について打ち合わせ
- 7月27日(火) 東海大学とKickoff ミーティング開催(池村教授・万城目教授・藤吉教授)
- 8月6日(金) 東大みかん愛好会とオンラインミーティング
- 9月27日(月) 東海大学万城目教授・藤吉教授と学生のフィールドワークについて協議
- 10月19日(火) 東海大学フィールドワーク@井上農園 学生20名参加
- 10月26日(火) 東海大学学生による湘南みかんを活用した地域振興プレゼン
- 11月24日(火) 二挺木農園収穫&出荷サポート
- 11月24日(火) 三菱UFJ銀行茅ヶ崎支店 支店長現地視察
- 11月27日(土) 北原農園収穫&出荷サポート 東大みかん愛好会・サス研・メンバー
- 11月28日(日) 湘南みかん販売会@Que店頭 菊池奈々さん郡恵美さん
- 12月5日(日) 井上農園収穫&出荷サポート 東海大学・新規就農予定者
- 12月12日(日) 湘南みかん販売会第2回目@Que 菊池奈々さん郡恵美さん
- 2月23日(水) 湘南ゴールド販売会@Que店頭 菊池奈々さん郡恵美さん

・PJメンバー	リーダー：渡部	メンバー：菊池・郡	
・対 象 者	みかん農家・一般消費者・企業		
・決 算 額	企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品		89 万円

2.ふれあい畑塾

9年目

＜内容＞畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南 3 か所計 40 区画で展開。募集方法を随時募集に切り替えたことと、社会的情勢から順調に事業が進んでいる。

東区画と西区画は新たな区画に移転。旧区画を活用した農業体験イベントや専用農園なども計画をしています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下で、畑に興味を持つ方が増え全ての区画が埋まっている状況。会員獲得に経費をかけることもなく、キャンセル待ちも 8 組出しており、引き続き多くのお問い合わせをいただいている。

毎年 2 回開催していた「収穫祭」はコロナの影響で中止としていたが、秋の収穫祭から再開をする予定。

新たな取り組みとして、IT コンサルティング企業が手がける、家庭菜園の野菜シェアのマッチングアプリ「Sharvest」の活用を開始する。取れすぎた野菜のシェアについて塾生にヒアリングしたところ、知らない誰かにシェアするのではなく、子ども食堂などに寄付ができれば。とのことだったので、本村こども食堂を運営する早川市議に相談し、子ども食堂への寄付の試験運用を開始する。試験運用のメンバーは菊池奈々さん、塾生の有福さん、矢川さんの 3 名でスタート。

他にもクックパッドが手がける定額制料理教室サービスのトライアル運用も畑塾のメンバーと進める予定。

・PJメンバー	リーダー：渡部	指導者：鈴木	
・対 象 者	農家・市民・企業		
・決 算 額	企画・パンフ・イベント費		1 万円

3.地場商材開発販売「湘南工房」

9年目

＜内容＞災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業とみかんパートナーシッププログラムから発展した湘南みかんの加工品及びトマトジュース等、地産地消を推進する農産加工品開発販売事業。

災害備蓄食糧「おかゆ」は茅ヶ崎市から仕様変更の依頼があったが、既存取引メーカーでは対応できず、長年続いた納品がストップとなった。

農産加工品については、ダイナックが運営するゴルフ場 5 件を中心に、茅ヶ崎市観光協会や横浜そごうの中元ギフトに採用。地域の店舗では「チガラボ」「C の辺り」「とまり木」で販売中。当団体が持つ販路を地域の店舗にも提供して、高級食パンの「生とサザンと完熟ボディ」の商品を平塚富士見カントリークラブに卸売を開始。

・PJメンバー	リーダー：渡部	
・対 象 者	農家・市民・企業	

・決 算 額	農産物仕入・資材・運賃・営業費	330 万円
--------	-----------------	--------

4.湘南ワンハンドレッドプロジェクト 4年目

＜内容＞かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金の事業を受託。3 年間事業として神奈川県県民部基金事業課を通じ、総合政策課及び湘南地域県政総合センター企画調整課との連によりスタート。3つのプロジェクト（まちのキャリアラボ：リーダー中村(容)、湘南 100C L U B：リーダー山口、企業人の越境プログラム：リーダー清水）から構成され、各プロジェクトリーダーのもと事業を展開した。

神奈川県の負担金事業が終了し、自走できる仕組みを模索しながら引き続き事業を継続している。

【藤沢市との取り組み】

藤沢市生涯学習講座全 3 回を今年度も受託。中村(容)さんが中心となり、9 月 19 日・9 月 25 日 10 月 2 日にそれぞれ、四條さん・郡さん、原島さんがロールモデルとして登壇。

32 名の方が受講生として参加。

【NEC との取り組み】

日本電気株式会社コーポレート事業開発統括部からの委託事業として「高校生のためのオンライン進路相談サービス」の相談員の募集と研修を受託。中村容さんを中心に様々なバックグラウンドを持つ 28 名の方に相談員として登録していただき、9 月サービス開始を目標に事業を進めている。

・PJ メンバー	リーダー：渡部 メンバー：清水・中村(容)・山口(順)	
・対 象 者	地域住民・企業	
・決 算 額	企画・運営・イベント費・消耗品	15 万円

5.キッチンカー・フードトラックプロジェクト 2年目

＜内容＞ニューノーマル時代の新しいカタチの食の提案や、キッチンカー、フードトラックを活用した地域活性を行う団体との協働プロジェクト。当団体のバックオフィス側の機能の提供や、新規出店場所やキッチンカーを起点にしたイベントの提案等を行う。

・PJ メンバー	リーダー：渡部 メンバー：内波	
・対 象 者	地域住民・企業	
・決 算 額	出店料・企画・運営・イベント費・消耗品	250 万円

3. 組織

(1) 会員

正会員 23 名(理事含む) 会員 14 名 アドバイザー 3 名

代表理事 渡部健 理事 清水謙・市川靖洋・那須かおり

監事予定者 四條邦夫

正会員 23 名

順不同 敬称略

竹村治亘（自転車卸売業）	杉村一憲（市民活動家）	中村雅和（社会保険労務士）
市川信治（機械設計）	久保田邦邇（市民活動家）	西村誠（建設業）
市川歩（デザイン業）	中村容（大学職員）	山口順平（会社員）
四條邦夫（HP制作業）	那須かおり（法人代表）	熊谷孝良（不動産業）
津金愛佳（法人役員）	石塚和人（会社員）	内波義雄（会社経営）
池田一彦（会社経営）	山口直（会社経営）	小野寺元希（看護師）
原悠樹（SFC 上席所員）	清水謙（会社経営）	市川靖洋（会社経営）
渡部健（コンサルタント）	藁品孝久（市民活動家）	

会員 14 名

順不同 敬称略

永田てるじ（県会議員）	坂田美保子（NPO 代表）	鈴木稔彦（農家）
吉川宗孝（行政）	菊池奈々（食アドバイザー）	山宮立珠（ピアノ教師）
宮治勇輔（養豚家）	菊池小夏（会社員）	米山守（市民活動家）
高橋新（コンサル）	一杉繁（市民活動家）	米山有子（市民活動家）
佐藤夢美（市民活動家）	齋藤浩平（会社経営）	

法人会員 5 社

(株)ボンド (株)茅ヶ崎技研 (特非)セカンドワーク協会 (一社)4Hearts
(株)小田急不動産

アドバイザー 3 名

川廷昌弘 吉田誠 笠岡誠一

名誉顧問 2 名

竹村治亘 杉村一憲

<第2号議案> 令和3年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	267,000	118,000	年額 12,000円×8名/ 3,000円×7名 / 1,000円×1名
2 法人会費	90,000	60,000	年額 30,000円×2社
3 法人事業収入	0	580,500	制作物
4 講演料収入	60,000	0	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
6 湘南みかんパートナーシップ事業	2,500,000	1,088,000	みかんパートナー156口、みかん販売、寄付金
7 ふれあい畑塾	1,000,000	978,109	39区画
8 地場商材開発販売「湘南工房」	2,500,000	3,596,406	おかゆ・みかん・トマトの原材料等、アグリビジネス
9 湘南ワンハンドレッドプロジェクト	500,000	201,200	講演料
10 キッチンカー・フードトラック事業	6,000,000	2,481,000	出店料収入
当期収入計(A)	12,917,000	9,103,215	
その他収益事業会計より繰り入れ	0		
当期収入合計 (A)	12,917,000	9,103,215	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①講演・イベント支出	0	0	会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000	893,485	みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	50,000	1,650	イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	2,100,000	3,305,661	おかゆ・みかん・トマトの原材料等、アグリビジネス
⑤湘南ワンハンドレッドプロジェクト	300,000	146,620	業務委託費・謝金
⑥キッチンカー・フードトラック事業	5,100,000	2,497,812	出店料・販促費・業務委託費
当期事業支出(B)	9,750,000	6,845,228	
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000	1,800,000	団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0	0	アルバイトスタッフ等
③ 運賃	50,000	54,188	みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④ 会議費	20,000	23,620	勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	5,000	14,460	レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	80,000	87,103	電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	70,000	216,914	事務関連
⑧ 水道光熱費	0	0	
⑨ 諸会費	10,000	17,000	諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	100,000	84,480	振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	10,000	132,000	事務所費
⑫ 保険料	50,000	62,890	NPO団体保険料
⑬ 租税公課	380,000	727,700	消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000	2,000	記事掲載新聞購入
⑮ 顧問料	200,000	287,644	税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	50,000	0	コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	300,000	333,300	全事業Web関係
⑱ イベント費	30,000	0	イベント費
⑲ 業務委託料	0	560,500	
事業管理費計(C)	3,165,000	4,403,799	
当期事業支出(D) (B)+(C)	12,915,000	11,249,027	
事業費振替額(E)			
当期収益(F) (A)-(D)+(E)	2,000	-2,145,812	
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益(F)	0	610,020	受取利息・一時支援金
借入金返済支出	0		
経常利益(G)=(E)-(F)		-1,535,792	
次期繰越金	0		

<第2号議案> 令和3年度 活動計算書

(その他事業に係る事業会計)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
①Web広告事業収入	0	0	
②その他広告事業収入	0	0	
当期収入計(A)	0	0	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計(A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			事業計画書(その他の事業)のとおり
①ポータルサイト広告募集事業			
Webサーバー設置費	0	0	サーバー構築費
通信費	0	0	インターネット回線
②その他の広告募集事業	0	0	
当期事業支出(B)	0	0	
2 管理費			
消耗品費	0	0	
通信費	0	0	
研修費	0	0	
会議費	0	0	
事業管理費計(C)	0	0	
当期事業支出(D) (B)+(C)	0	0	
当期収支差額(A)-(D)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和4年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 2,030,311 】	【 流動負債 】	【 1,002,858 】
現 金	69,105	買掛金	295,541
普通預金	1,395,152	預り金	21,317
商品	45,764	仮受金	686,000
未収入金	520,290		
仮払金	0		
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
		負債の部合計	1,002,858
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 2,563,245 】
		【 資本金 】	【 0 】
		当期純損益金	-1,535,792
		【 利益剰余金計 】	【 1,027,453 】
		繰越利益剰余金合計	1,027,453
		純資産合計	1,027,453
資産の部合計	2,030,311	負債・純資の部産合計	2,030,311

貸 借 対 照 表

(その他事業に係る事業会計)

令和4年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 0 】	【 流動負債 】	【 0 】
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 】
		【 資本金 】	【 】
		【 利益剰余金計 】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資の部産合計	0

令和3年度財産目録
令和4年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産	現金	手許現金在高	69,105	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	1,393,444	
		さがみ農協 茅ヶ崎支店	986	
		湘南農協 八重咲支所	722	
	商 品	期末在庫 みかん加工品、おかゆ	45,764	
負債	未収入金	(株) ダイナックパートナーズ 他 3件	520,290	
	買掛金	進和学園 他 2件	295,541	
	預り金	源泉所得税	21,317	
	仮受金	ふれあい畑塾 26区画	686,000	

令和3年度財産目録
令和4年3月31日 現在
(その他事業に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産				
			0	
負債				
			0	

上記のとおりご報告申し上げます。

令和4年6月5日

特定非営利活動法人 湘南スタイル

理事長 渡部 健
理 事 清水 謙
理 事 市川 靖洋
理 事 那須 かおり

監査の結果、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

市川靖洋 

〈第2号議案〉

令和3年度監査報告

令和3年度、湘南スタイル監査報告

令和4年6月5日午後5時、ワラシナビル5階の当法人事務所において、会計原簿並びに預貯金の調査を実施し、報告書の取り間違いのないことを確認いたしました。ここに報告いたします。

令和4年6月5日

神奈川県茅ヶ崎市新栄町13-48
ワラシナビル5F
市川靖洋



<設立からの経緯>

実施時期	活動実績	活動の目的
西暦 2005 年 6 月 ～2006 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイト構築準備 (http://www.shonan-style.jp) 2. メンバー拡大（設立時正会員 14 名） 3. 自主運営事業創出活動模索 4. 国・県・茅ヶ崎市等公的機関連携模索 5. 産学連携先模索	●地域貢献・社会貢献や人間関係の形成を基盤とする「持続可能な社会づくり」の実現に向け、地域の活性化活動と自己実現を共生させる研鑽の場として 2005 年 6 月、まちづくり NPO 法人設立。 ・地域のためになるかどうか ・人のためになるかどうか を行動の第一選択事項として活動しています。
西暦 2006 年 4 月 ～2007 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイト 5 月 1 日立上げ 2. メンバー拡大（協賛会員拡大 8 名） 3. 湘南ブランド創出事業・人參湘酎さん開発発売 4. 神奈川県コミュニティビジネスオーディション入選 5. 神奈川県創業実現モデル事業支援対象事業者認定	●地域の活性化は、地域内で活動する、市民・NPO、産業者（商業・工業・漁業・農業）、公共機関の 3 分野をつなぐ中間支援組織の役割が重要である。さらに、単一の市域の枠を超えて、隣接するエリアをつなぐ広域連携が重要と考え、ポータルサイトの充実と神奈川県との連携強化を視野に入れた事業を行った。
西暦 2007 年 4 月 ～2008 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 慶應大学 S F C との連携による地域コミュニティ創出検証事業・浜降祭インターネットライブ中継の実施 3. ペロタクシー運行事業（環境エネルギー問題啓発事業） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 21 名）	●当該年度の目標は、「産・官・学・民」の枠組みを築くため、慶應大学・文教大学、日本大学等、エリア内の大学との連携を行い、湘南地域の活性化をテーマに進める各校の教授・准教授との親交を深めた。市民や観光客の環境・エネルギー問題に関する意識高揚と省エネ型の交通手段の実証実験を目的として、公的機関の協力を得て、人が多く集まる夏季に人カタクシーを運行した。
西暦 2008 年 4 月 ～2009 年 3 月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業「おいしい茅ヶ崎」受託 (http://oishi-chigasaki.com/) 3. 茅ヶ崎市産米使用・災害備蓄食糧「おかゆ」開発発売 2009 年 2 月 14,000 食完売（茅ヶ崎市 8,000 食納入） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 28 名）	●「まちづくり NPO 法人」としての 3 年間の事業活動から、地域活性化の啓発・推進には、市民・産業・行政の 3 分野の全てにかかわりの深い「食と農」が最も効果的であると考え、地産地消の推進・安心安全な食・フードマイレージなど地域課題解決に向けた事業を実施した。その結果、茅ヶ崎市や農業者・産業者の協力が増え、Web アクセスからメンバー拡大につながった。

西暦 2009 年 4 月 ～2010 年 3 月	1. 湘南地域ポータルサイトの充実 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかん（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 ○経済産業省・まちづくり活動支援融資（政策金融公庫出資金、劣後ローン第一号）	●2009 年度は、メディア取材が増え、湘南地域の活性化を担う NPO としての認知度も高まった。2010 年度実施する「ふれあい田んぼ塾」は、茅ヶ崎市の学童保育に通う学童が 80 名参加し、収穫後に、災害備蓄食糧「おかゆ」に生まれ変わる稲作栽培を実施する予定となっている。また東海大学の教養学部との連携により、地域の活性化と実践的な教育の場の創出を目的として、学年横断型全体授業として、当該事業「湘南まるごと交流空間」を実施する。
西暦 2010 年 4 月 ～2011 年 3 月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter ）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 7. 「農(みのり)の駅」創出PJ 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●設立 6 年度目として、総事業費が、ようやく 1000 万円を超えるところまで、到達。しかし、依然として、不足資金が当該年度 50 万円、累計で 850 万円。湘南スタイル「みかんの木・パートナーシップ」プログラムが、コミュニティビジネスの範として、評価され、神奈川県協働事業として決定。同時に、日本財団の助成事業としても決定。かながわビジネスオーディションにおいて、奨励賞・CB 賞・日本経営士会賞を受賞。地産地消推進団体として、農林水産省より表彰。
西暦 2011 年 4 月 ～2012 年 3 月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter ）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 農水省 6 次産業化委託事業 7. 神奈川県緊急雇用創出委託事業 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●神奈川県との協働事業を開始したことで、初めての職員を採用でき、組織運営が潤滑になった。また、期中に農水省並びに神奈川県からの事業委託を受託。総収入が前年度実績の 3 倍、累積の欠損を穴埋めすることができ、大きく飛躍した年度となった。 茅ヶ崎市との連携も進み、「農の駅」創出のための官民連携として、ちがさき百年プロジェクト（協働推進）が関連 8 課と連携して勉強会がスタート。

西暦 2012年4月 ～2013年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用 (HP/ Facebook /Twitter) 運営管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ (加工品/みかん狩り/観光ツアー) 発売 6. 茅ヶ崎市協働事業：お父さん・お母さん のための子育て情報サイト 「FuboLabo ちがさき」開設 7. 茅ヶ崎市「柳島向河原地区アクションプ ラン作成業務」委託事業	●設立時 ・湘南独自のポータルサイト運営 ・異業種混合地域統一ブランドの 開発、プロデュース ・湘南「海の駅・山の駅」設置提 案 以上3点の実現に向け、事業をス タートさせてきたが、当該年度、 茅ヶ崎市との8課連携により、柳 島地区のアクションプランを作 成、設立時の目標に近づいたと実 感する年度となった。
西暦 2013年4月 ～2014年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 茅ヶ崎市協働事業「文化生涯ポータルサ イト」 4. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パー トナーシップ」事業 5. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 6. ふれあい田んぼ塾 7. ふれあい畑塾 8. 6次産業化推進事業「農産品加工工場建 設」促進事業	●設立8年目にして、消費税の課 税NPO事業者となり、税務の面 においても社会貢献するNPOと なったことは感慨深い。これまで 実践してきた、コミュニティビジ ネスに関する講演依頼が、県内か ら4か所あった。 ●農水省6次産業化事業で、連携 先である、平塚の社会福祉法人 「進和学園」に農産加工場設置が 決定し、平成26年度運用が開始 される。就労支援・農業支援を通 じ、県内初の試みを進めるため、 販路開拓・広報支援を依頼され、 コンサルタント事業を開始する。
西暦 2014年4月 ～2015年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パー トナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業	市民・産業者・行政をつなぎ、地 域活性化か活動を推進するた め、「食と農」を通じた公的機関と の連携を目的に助成金の公募に エントリーし、受託され関係を築 いてきた。しかしながら、 ●神奈川県協働事業（4年間）の 最終。 ●農水省農ある暮らしづくり交 付金（ 上記、2事業を持続可能な仕組み への移2年間）の最終年度。行さ せることが、助成金を活用する本 来の意義であるが、受託金額が大 きいほどその難しさを感じてお り、規模を縮小して継続事業とす る。

西暦 2015年4月 ～2016年 3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリー、2件の協働事業の採択が決定。	「みんなで創る湘南スタイル」のスローガンのもと、新たな10年に向かってスタートした。 国・県・市の助成事業が終了し、団体として自主運営していくことができるかどうかを問われる年度となった。 同時に、メンバーの新旧交代に時期に入っており、組織運営について、一年の理事会を通じて、定款の目的・会員区分の変更などを含め、活動メンバーや新規参加メンバーに対し、解りやすいパンフレットや組織体制図を作成 東大みかん愛好会・JTBと連携して、みかん観光列車を小田原迄運行した。
西暦 2016年4月 ～2017年 3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい畑塾の運営 6. 6次産業コンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発事業 8. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「落書き防止・抑制のためのペイント事業」 10. JT 財団 NOP 助成事業 11. その他の事業	茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリーし、茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業並びに落書き防止のためのアートペイント事業をそれぞれ2年間に渡り実施している。2事業とも友好他団体との連携で事業を進めている。 また、JT 財団 NPO 助成事業に「ふれあい畑塾」関連で、事業を受託した。 事業受託により、畑塾メンバーの活動費が生まれ、実験農地として、炭素循環農法などを研究している。 別途、(財)食品産業センター及び(財)中央果実協会からの声がかかり、左記 10・11の事業を実施した。単年度事業であり、かつ団体活動に直接関連する事業でなかったにもかかわらず、負担が大きかった。

西暦 2017年4月 ～2018年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. ふれあい畑塾の運営 5. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 6. アグリビジネスコンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発販売事業 8. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市協働事業 9. 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」：茅ヶ崎協働事業 10. JT 助成担い手育成事業 11. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 12. その他の事業	NPO活動は、企業も同様であるが、組織運営維持のための収入をどう確保する仕組みを創るにかかっている。ただ、NPOは、企業と違い社会貢献活動を事業構造の中心に据え、CB／SBの手法を使い、自己の持つ社会課題を解決する仕組みをメンバーの英知や行動で実現する楽しみがある。 社会課題は、行政も多くを抱えており、その解決策を補助金・助成金や委託事業として募集している。それらをよく見極め活用していくことも重要なファクターであり、本年度も茅ヶ崎市から3事業とJTの4事業が。さらには、みかん、畑、農産加工、6次産業化など多くの事業が関係している。
---------------------------	--	---

西暦 2018年4月 ～2019年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. JT 助成担い手育成事業 7. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 8. 神奈川県ボランティア活動基金21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 9. 湘南スタイルホームページ運営事業	新年号「令和」に代わる2019年度は、設立以来、理事長を務めてきた菓品から新理事長市川信治（茅ヶ崎技研㈱代表取締役）氏に引き継ぐ。 開設時から5年間に積み重ねていた負債を軽減するために経費の削減と新規事業及び業務委託を受け、湘南工房製品の販路開拓及び新商品開発を実施したことで、収入を増加させ、次年度の負担を軽減することができた。 神奈川県からNPO研修を毎年受入れしているが、その中で、新たな連携が始まり、二宮町も含め農産加工品の商品開発・販路拡大が開始された。また、新たに神奈川県とスタートしたボランティア活動基金21の協働事業のお蔭で、メンバーも増え団体の運営に明るい兆しが見えてきている。 昨年度から実施してきた、エディブルパーク茅ヶ崎は、事業主体者へ業務を移管した。
---------------------------	---	---

西暦 2019年4月 ～2020年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川新理事長の元、新しい湘南スタイルのあり方をメンバーと考え実践した。 湘南スタイルとして行うべき事業への選択と集中。日常業務の効率化、会議体の見直しを図った。当初は茅ヶ崎市への移住に関する事業を開始予定だったが行政との調整がつかず移住に関する新規事業を開始することができなかった。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトは2年目が終わり、協働事業最終年度を見据え自走できる仕組みづくりをテーマに各リーダーが中心となり進め、2年目の取り組みは県からも高い評価をもらうことができた。
西暦 2020年4月 ～2021年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川理事長体制の最終年。次世代への引き継ぎを中心に事業と業務の効率化を図り、持続可能な団体づくりに注力をした。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトの最終年度で集大成として精力的に活動した。HPからの問い合わせも多く、社会の関心の高さを再認識し、協働事業終了後の自走できる仕組みづくりに各PJリーダーと取り組む。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトを通して、様々な属性をもつ方との関係ができ、団体のプロジェクトにも積極的に関わる方も出てきて、活動の幅が広がった1年となった。 コロナ禍で新しい生活様式が求められる中、湘南スタイルの活動や関わる方の参加の仕方も大きく変化した。みかんはイベントが中止となった一方、畑塾は参加者が増えた。移住者が増えてきたこともあり、地域の事業者と協力をして、移住者と定住者とのコミュニティを作ることを中心に「移住座談会」を2回実施し、湘南エリアへ魅力と問題点を再度認識知ることができた。

西暦 2021 年 4 月 ～2022 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 5. キッチンカー・フードトラック事業 6. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川前理事長から渡部が代表を引き継ぎ、事務局を兼務しながら活動を継続。既存の活動を継続しつつ、新たな湘南スタイルのあり方を模索する 1 年となった。 湘南みかんの木パートナーシッププロジェクトではこれまでの販路拡大や収穫サポートなどの支援から、後継者問題など持続可能な産業への移行が新たな支援と位置づけ、地域の大学や地域の方との連携を強化した 1 年となった。ふれあい畑塾ではコロナ禍の新たな生活様式の中で、農ある暮らしを取り入れる方が増えて来たことを実感し、専業農家による指導付き貸し農園を新たな農業のスタイルとするべく活動を継続した。 県の負担金事業が終了した湘南ワンハンドレッドプロジェクトでは、活動規模は縮小したもののメンバーがそれぞれ自走可能な活動を模索し、新たな芽が出始めてきている。 団体としては新たなメンバーも増え、できる人が、できる事を、できる時に活動をする社会貢献の仕組みを作り上げるべく活動をした。
--	--	--

<第3号議案>

令和4年事業計画

<基本方針>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、人々の暮らしが大きく変化した中で、時代背景に則した非営利活動をしていく必要を強く感じています。

昨年度は湘南スタイルとは何か。非営利活動とは何か、湘南らしさとは何かを再度考え、湘南スタイルの活動を湘南スタイルらしくする年として1年間活動をしました。湘南エリアには志を持って活動をしている様々な団体・個人の方がいます。1馬力では突破できない壁も、お互いが足りない部分を補い合いながら協業することにより、乗り越えられる壁も増え、活動の持続性・継続性も高まります。

湘南スタイルの設立の理念は「想いをカタチにするところ」です。新しい湘南スタイルは、団体と団体、団体と個人をつなげ、想いを持続できるよう繋げていく「想いをつなげる。カタチにする。」を新たな活動の理念として、湘南らしい持続性のある非営利活動を作り上げて行きます。

<会議予定>

総会	6月第3火曜日		(正会員・会員)
理事会	偶数月第1火曜日	18:00～	(理事・アドバイザー)
定例会	毎月第2火曜日	18:30～	(正会員・会員)
PJリーダー会議	随時設定		(理事及びPJリーダー)
PJ会議	随時設定		(リーダー・メンバー)
会計会議	毎週第4火曜日	11:00～	(渡部・大澤)

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」事業

〈内容〉引き続きみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を促進する為に支援を行います。組合参加農家数は3軒(二挺木・井上・北原)。

新型コロナウイルスの状況も鑑みながらの開催となるが、今年は3年連続で中止となったみかん狩りイベントを再開する。二宮町や大磯町ともみかん狩り後の観光等での協力体制を模索する。

東大みかん愛好会・東京農大ボランティア部・東海大学教養学部との産学連携も引き続き進めていく。

5月5日(木)には新しいメンバーの山口直さん協力のもと、二挺木農園で東大みかん愛好会の新歓コンパを開催した。圃場で山口直さんによりワールドカフェ方式の研修をおこない、湘南みかんの活性化について議論を交わし、参加者28名中、27名が愛好会に加入することとなった。7月後半には学生や地域の飲食店事業者と協力してみかんの摘果作業を行う予定。

みかん狩りイベントは「じゃらん」への掲載や寄付型のクラウドファンディングなど新しい広報の方法も模索し新規顧客の獲得をはかる。

パートナー募集は2018年度並みを予定。

今年度は11/19(二挺木) 11/22(北原) 12/3(井上)に開催予定。

・PJメンバー	リーダー：渡部
・対象者	みかん農家・JA 湘南・地元ボランティア・神奈川県 農業技術センター・加工業者・観光会社・CSR推進企業 一般消費者・学生
・予算額	広報・パンフ・会議費・材料費・人件費等 250万円

② ふれあい畑塾事業

〈内容〉農と触れ合いたい市民・企業と農家を結ぶ地域コミュニティ創出事業。

地域振興プログラムとして持続可能な仕組みで自主運営。前年度はコロナ禍で収穫祭などのイベントの開催ができなかったが、今年度は畑でのイベント等を行い塾生間のコミュニティをさらに強化する。また塾生向けだけではなく、農作業や収穫を体験できるプランも拡充し茅ヶ崎らしい「農ある暮らし」や「子ども向けの食育」を提案していく。

・PJメンバー	リーダー：渡部 鈴木塾長
・対象者	畑ユーザー・湘南スタイルメンバー
・予算額	入園料・講師料・イベント費・情報発信 108万円

③ 地場商材開発販売 「湘南工房」・農産加工品・おかゆ

＜内容＞競合する地場商品が増えていく中、地産地消・農家支援・規格外農産物の活用・障害者の就労支援が出来る商品として、取り扱い企業のCSRに繋がる営業を展開し、新規の売り先の拡大を図る。また、団体が有する販路を、湘南エリアの他の事業者にも提供し、地域経済の活性化を図る。

・PJメンバー	リーダー：渡部	メンバー：原	
・対象者	デパート・ホテル・飲食店・ゴルフ場・小売店等		
・予算額	原料仕入・配送料・梱包資材・人件費等	380万円	

④ 湘南ワンハンドレッド・プロジェクト

＜内容＞神奈川県ボランティア基金21協働負担金事業は終了となったが、まちのキャリアラボ(リーダー：中村)、湘南100CLUB(リーダー：山口)、企業人の越境プログラム(リーダー：清水)の3つのプログラムともに自走できる仕組みづくりに向け積極的に活動をしていく。本テーマにおける個人の関心の高さから、プロジェクトに参加希望の問い合わせが多数ある。また企業側も取り組みたいテーマではあるが具体的な行動が起こせていないなどのニーズの掘り起こしを行う。今年度から湘南ワンハンドレッドプロジェクト内に新たな企画の「茅ヶ崎カンパニー」を立ち上げ、地域に関わりたい一般市民と地域のプロジェクト・企業とのマッチングを行う。

・PJメンバー	リーダー：渡部		
	メンバー：清水・山口・中村・内波・池田		
・対象者	神奈川県内の個人・企業・各種団体		
・予算額	講師料・イベント費・情報発信・会場費	50万円	

⑤ キッチンカー・フードトラック支援事業

＜内容＞ニューノーマル時代の新しいカタチの食の提案や、キッチンカー、フードトラックを活用した地域活性を行う団体との協働プロジェクト。当団体のバックオフィス側の機能の提供や、新規出店場所やキッチンカーを起点にしたイベントの提案等を行う。

・PJメンバー	リーダー：渡部	メンバー：内波	
・対象者	キッチンカー事業者・商業施設・一般消費者		
・予算額	出店料・イベント費・情報発信	30万円	

⑥ 湘南ワークキャンプ事業

〈内容〉湘南エリアの恵まれたロケーションを活用した、個人向け・企業向けの研修事業を開始する。東京から東海道線で1本、時間にして1時間程度の近さ。海や山などの自然に恵まれた環境を有効活用し、個人の能力開発や企業の新規事業開発・チームビルディングなど、新しくメンバーになった山口直さんとフルカスタムの研修を作り上げていく。

・PJメンバー	リーダー：渡部	メンバー：山口直	
・対象者	一般市民・行政・企業		
・予算額	会場費・広告宣伝費・講師料		120万円

<第4号議案> 令和3年度 収支予算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	318,000	318,000	年額 12000円×23名/3000円×14名
2 法人会費	150,000	150,000	年額 30,000円×5社
3 法人事業収入	600,000	600,000	制作物
4 講演料収入	60,000	60,000	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
6 湘南みかんパートナーシップ事業	2,500,000	300,000	みかんパートナー60口・加工用みかん販売
7 ふれあい畑塾	1,080,000	1,030,000	40区画
8 地場産材開発販売「湘南工房」	3,800,000	600,000	みかん・トマト・原材料等
9 湘南ワンハンドレッドプロジェクト	500,000	200,000	インタビュー事業・イベント収入等・講演会
10 キッチンカー・フードトラック事業	300,000	100,000	出店料収入
11 湘南ワークキャンプ	1,200,000	400,000	研修事業
当期収入計(A)	10,508,000	3,758,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	10,508,000	3,758,000	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①講演・イベント支出	0		会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000		みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	50,000		イベント費等
④地場産材開発販売「湘南工房」	3,200,000		みかん・トマト・原材料等
⑤湘南ワンハンドレッドプロジェクト	300,000		業務委託費・謝金
⑥キッチンカー・フードトラック事業	200,000		出店料・販促費・業務委託費
⑦湘南ワークキャンプ事業	800,000		講師料・場所代・販促費
当期事業支出(B)	6,750,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0		アルバイトスタッフ等
③ 運賃	60,000		みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④ 会議費	30,000		勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	20,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	90,000		電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	200,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	0		
⑨ 諸会費	80,000		諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	90,000		振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	132,000		事務所費
⑫ 保険料	60,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	500,000		消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000		記事掲載新聞購入
⑮ 顧問料	280,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	50,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	300,000		全事業Web関係
⑱ イベント費	50,000		イベント費
事業管理費計(C)	3,752,000		
当期事業支出 (D) (B)+(C)	10,502,000		
当期収益 (E) (A)-(D)	6,000		
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0		
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F)	6,000		
次期繰越金	0		

＜第5号議案＞

監事の退任にともない、監事候補者の承認を求めます。

任期：2022年7月1日から2023年6月30日まで。

【監事候補者】 四條 邦夫 （新任）